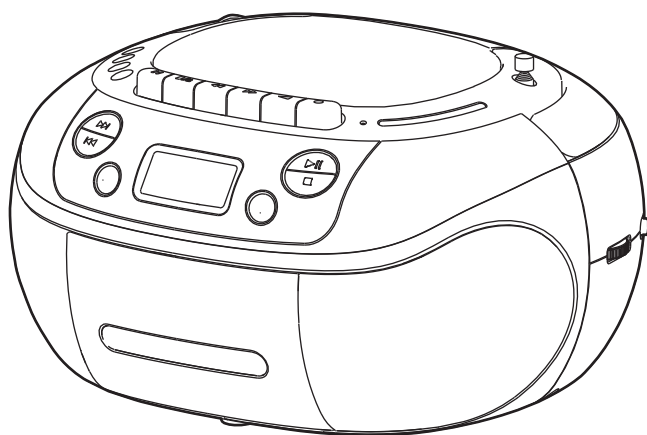


Bluetooth[®]対応CDラジオカセットレコーダー MXCR-200

PA2856-10

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。

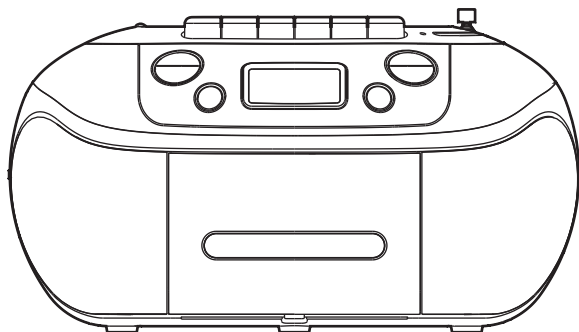


もくじ

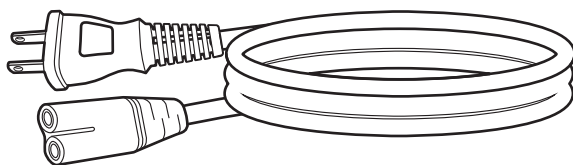
1	はじめに	3	12	カセットテープを聴く	17
2	安全上のご注意	4	13	USBメモリー/TF(microSD)カードを聴く	18
3	ワイヤレス使用上のご注意	7	14	Bluetooth機器を聴く	19
4	CDについて	8	15	カセットテープに録音する	20
5	USBメモリー/TF(microSD)カードについて	9	16	USBメモリー/TF(microSD)カードに録音する	21
6	カセットテープについて	10	17	ヘッドホンで聴く	21
7	各部のなまえ	11	18	お手入れのしかた	22
8	電源について	12	19	廃棄のしかた	23
9	基本操作	13	20	トラブルシューティング	23
10	CDを聴く	14	21	仕様	25
11	ラジオを聴く	16	22	保証とアフターサービス	26

同梱品の確認

本体



専用ACコード



保証書付き取扱説明書
(本書)

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。

免責事項 (保証内容については保証書面をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- 本製品の不具合により再生・録音ができなかった場合や、録音した内容が破損・消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償および、それに付随するあらゆる損害について、弊社は一切責任を負いません。また、いかなる場合においても、弊社にて録音内容の修復や複製、復元などは致しません。
- 本製品はすべてのUSBメモリー/TF(microSD)カードに記録されているオーディオファイルの再生を保証するものではありません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、弊社は一切責任を負いません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてお願い

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音機能のチェック・ためし録りをしてください。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

	警告 使用者が死亡または重傷 ^{※1} を負うことが想定される内容を示します。
	注意 使用者が軽傷 ^{※2} を負うことが想定されるか、または物的損害 ^{※3} の発生が想定される内容を示します。

※1:重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。

※3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大被害を指します。

図記号の説明		製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するものです。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

もし異常が起これたら

 警告	
 指示	● 異常・故障時には、すぐに使用を中止し、ACコードを抜く (あるいは、乾電池を取り出す)
	異常・故障例 ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音声が出ないことがある ・ACコードが異常に熱い ・電池が液漏れしている ・電源が入らない ・内部に水や異物が入った ・ACコードが傷んでいる ・本体に変形や破損した部分がある
	火災・感電の原因となります。

ACコード・電源プラグについて

 警告	
 禁止	● めれた手で電源プラグを抜きさししない 火災・感電の原因となります。

 指示	●電源プラグはAC100Vコンセントに根元までさし込む ●万一の事故や故障に備えるため、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントにさし込む ●電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが堆積している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやホコリをとる ●電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く ●ACコードを取り扱うときは、次のことを守る
	・傷つけない ・延長するなど加工しない ・加熱しない ・引っ張らない ・重いものを載せない ・はさまない ・無理に曲げない ・ねじらない ・束ねたまま使用しない
	取り扱いをあやまると、感電や発熱による火災の原因となります。

 注意	
 禁止	●ACコードは付属のもの以外を使用しない ●付属のACコードを他の機器に使用しない 火災・感電の原因となります。
 指示	●長期間使わないときやお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因となります。

ご使用について

 警告	
 禁止	●分解・修理・改造はしない ●CD挿入部に手を入れない ●雷が鳴りだしたら、FMアンテナ・ACコードに触れない ●壁に押しつけない(背面3cm、左右側面5cm以上の間隔をあける) ●異物を入れない ●通風孔をふさがない
	・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込んで使用しない ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けて使用しない ・じゅうたんや布団の上に置かない ・あお向け・横倒し・逆さまにしない
	火災・感電・事故の原因となります。

 禁止	● ワイヤレス機器の使用が禁止されている場所で使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、誤動作により事故の原因となります。
 指示	● 持ち運ぶときは、FMアンテナを収納し、電源プラグをコンセントから抜く ● 落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 取り扱いをあやまると、火災・感電・けがの原因となります。

⚠ 注意

 禁止	● 花瓶など液体が入ったものを本製品の上に置かない ● CDやカセットの挿入口に手を入れない ● 円形ディスク以外は使用しない ● CDピックアップをのぞき込まない ● 本製品の上ののったり、重いものを置いたりしない ● 長時間音がひずんだ状態で使わない ● ヘッドホンの音量を上げすぎない けが・故障・火災などの原因となります。
--	--

設置について

⚠ 警告

 禁止	● 次のような場所には置かない、使用しない ・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所 ・雨、きりなどが直接入り込む場所・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所 ・直射日光の当たる場所、炎天下の車内・ホコリ、油煙の多い場所 ・振動の強い場所 ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所 ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所 ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所 本製品の破損・火災・感電の原因となります。
---	--

乾電池について

⚠ 警告

 指示	● 電池交換には同一または同タイプのものだけを使用する 電池が正しく交換されていないと、破裂して、漏液・火災・感電・けがの原因となります。
--	--

⚠ 注意



● 乾電池を取り扱うときは、次のことを守る

- ・ 指定以外の乾電池を使わない
- ・ 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- ・ 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- ・ 水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
- ・ 直射日光の当たる場所や火の近くなど熱源の近くに置かない
- ・ 長期間使わないときは、本製品から乾電池を取り出す

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、もれた液に触れた時は、水でよく洗い流し医師に相談してください。機器についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

③ ワイヤレス使用上のご注意

本製品は2.4GHzの周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社「お客様ご相談センター」までお問い合わせください。
- 本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本製品の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証表示を消すことは禁止されています。
- 病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

4 CDについて

CDの種類について

- マークの入ったディスクを使用してください。
- 円形ディスク以外は使用しないでください。円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがや破損の原因となることがあります。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロールCDや特殊形状など規格外のディスクは再生できません。

CD-R/RWディスクについて

- 本製品は、CD-DA*フォーマットまたはMP3オーディオファイルで記録されたCD-R/RWディスク（ファイナライズされたもの）を再生することができます。ただし、ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとすると、ディスクが傷つくことがあります。
- VCD（ビデオCD）は再生できません。
- CD-R/RWディスクはディスクテーブルのキャッチャーにしっかりとめ込んでください。正しくホールドされていない場合、ディスクにキズが付いたり故障の原因となります。
- CD-R/RWディスクが正しくセットされていない場合や読み取れないディスクが入っている場合、「Err」が表示され、再生できません。
- CD-R/RWディスクにキズ、指紋、ホコリがついていると、再生できない場合があります。一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
- 著作権保護付きのオーディオファイルは再生できません。
- 個人が楽しむ以外の不正コピーは著作権法上禁止されています。

*CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

CDのお手入れについて

- 再生する前に、再生面についたホコリ、ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かって拭いてください。
- シンナーやベンジン、アセトン、アルコールなどは使用しないでください。

CDの取り扱い・保管について

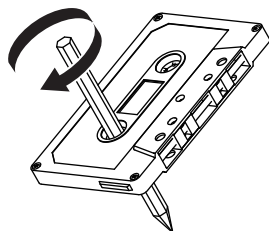
- CDの信号面に紙やシールを貼らないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばに置かないでください。
- 信号面にキズやひび割れが生じると、状態によってはCDが再生できなくなります。指紋やホコリなどの汚れはCD再生時のエラーや音質低下の原因となります。CDを取り扱う場合はキズや汚れが付かないように信号面に触れないように持ってください。
また専用ケースに入れて保管することをお勧めします。ケースに入れず重ねた状態で置いたり、斜めに立てかけて放置するとキズや、その原因になります。

5 USBメモリー/TF(microSD)カードについて

- 本製品は、USB規格に準拠したUSBメモリー(USBフラッシュドライブ)または、TF(microSD)カードを使用してください。
- 著作権保護付きのオーディオファイルは再生できません。
- フォーマット形式は、FAT16またはFAT32の32MBから128GBまで対応しています。容量32GBを超えるものは必ずFAT32形式でフォーマットしてご利用ください。FAT12やexFATには対応していません。
- デジタルカメラや携帯電話などの画像データが入ったUSBメモリーやTF(microSD)カードは、使用できません。
- 読み込み時の表示は、総ファイル数です。オーディオファイルが無いと、「no」を表示します。
- USBメモリーやTF(microSD)カードを利用する場合は、それぞれの取扱説明書に従ってください。録音や再生ができない場合があります。
- USBメモリーやTF(microSD)カードに触れる際は、設置された金属に触れるなど一旦身体の静電気を放出してください。データ消失や故障の原因となります。
- USBメモリーやTF(microSD)カード使用中に振動や衝撃を与えたり、取り出したりしないでください。データ消失や故障の原因となります。かならず電源を切ってから取り出してください。
- パソコンなど他の機器で作成／編集されたUSBメモリーやTF(microSD)カードを再生した場合、フォルダー構成が変わることがあります。
- そりなど変形したUSBメモリーやTF(microSD)カードは、接続不良が発生したり、取り出せなくなるので使わないでください。
- USBメモリーやTF(microSD)カードは直射日光の当たる場所で使用しないでください。データ消失や故障の原因となります。
- USBメモリーやTF(microSD)カードをぶつけたり、落としたり踏みつけたりなど強い衝撃を与えないでください。
- USBメモリーやTF(microSD)カードのフォーマットが必要な場合は、それぞれ専用のソフトウェアで行ってください。
- 規格団体USB-IFまたはSDAに認定されていないUSBメモリーやTF/microSDカードについては、読み込まなかったり、録音や再生ができなかったりすることがあります。

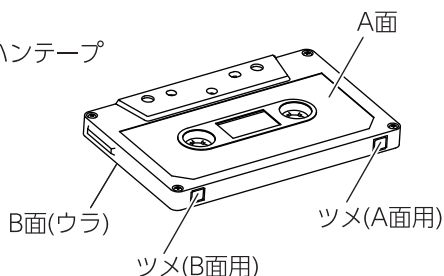
6 カセットテープについて

- ノーマルポジション(TYPE1)テープをご使用ください。
- クロームポジション(TYPE2)やメタルポジション(TYPE4)テープには対応していません。また、エンドレステープは使用できません。
- 90分をこえるテープはたいへん薄く伸びやすいため、メカに巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- 操作をする前に、次のことを確認してください。
 - ・ テープがメカに巻き込まれるのを防ぐためカセット挿入部に入れる前に指や鉛筆などでたるみを巻き取るか、カセット挿入部に入れた後、再生を始める前に数秒間早送りまたは巻戻しをおこなってください。
 - ・ カセットテープ内部でテープがたるんでいる場合もありますので、必ずたるみをとってから再生してください。テープが正しい位置を通らず動作不良を起こすおそれがあります。
- 録音／再生／早送り／巻戻し動作中は必ず停止ボタンで停止状態にしてから操作を行ってください。電源を切る、機能選択を切り替える際も一度停止状態にしてから切り替えてください。故障の原因になります。
- 再生時の雑音が多い／音質が良くないなどの症状が出たら市販の綿棒などで再生／録音ヘッドを清掃してください。
- カビなどが付着したテープや劣化した古いテープは使用しないでください。ヘッドを劣化させ再生できなくなったり故障の原因となります。



大切な録音を消さないために

- カセットテープの底面にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - ・ ホコリの多いところ
 - ・ 磁気の発生するところ
 - ・ 高温や湿気の多いところ

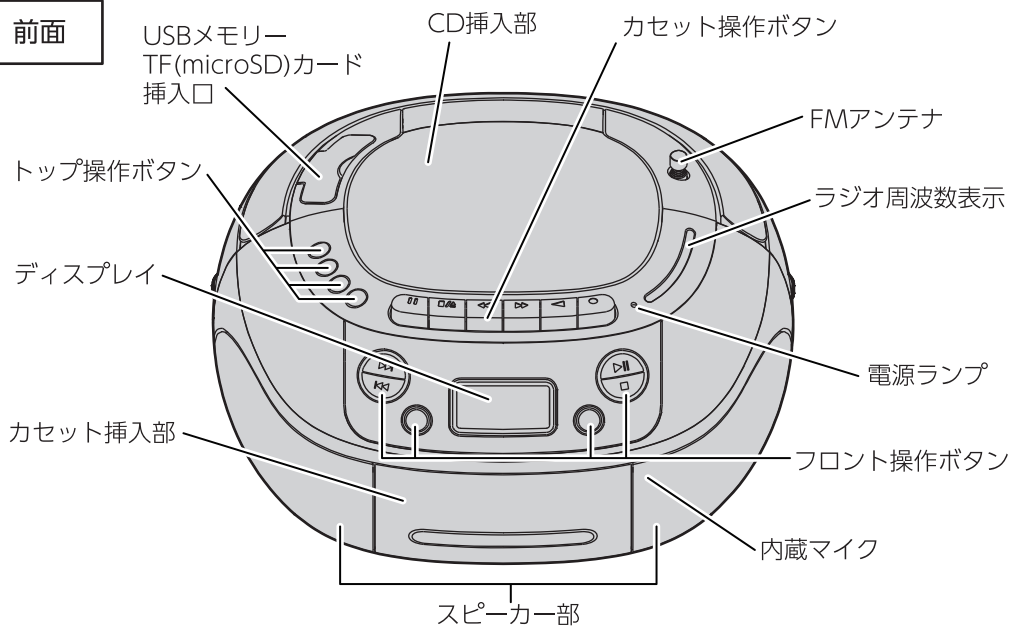


再生時のノイズについて

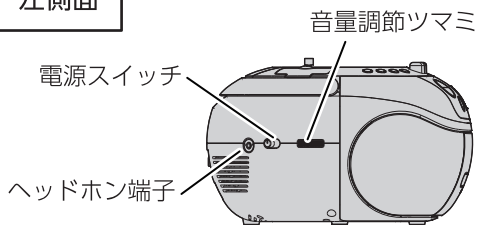
- カセットテープの再生では、機械式であるカセットレコーダーの構造そのものに起因する動作音や、テープ走行時のヘッドとテープの物理的接触によって発生するヒスノイズ、周辺機器などからの電磁波をヘッドが拾うことによって引き起こされる誘導ノイズなど様々な原因によるノイズが発生することがあります。これらはカセットテープ特有のものであり故障ではありません。

7 各部のなまえ

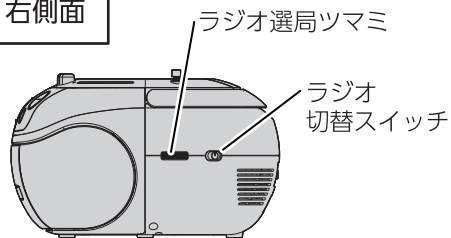
前面



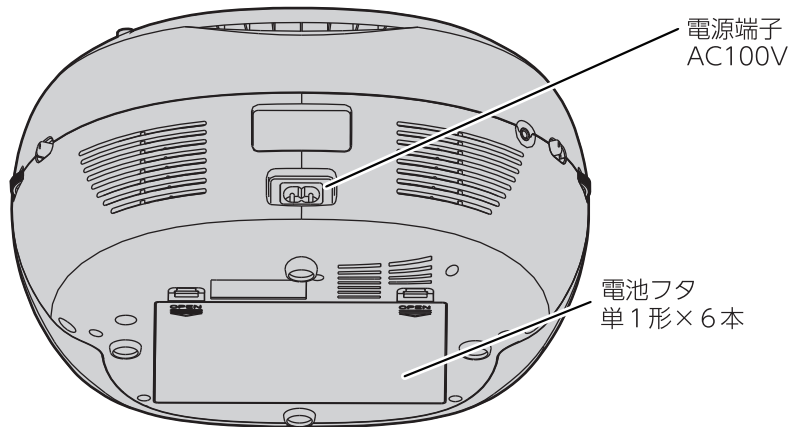
左側面



右側面



背面



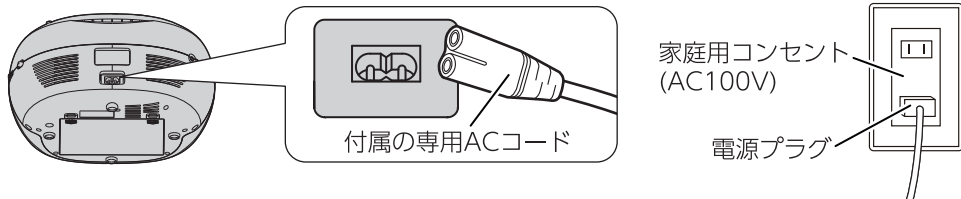
8 電源について

本製品は家庭用コンセント(AC100V)または、乾電池(単1形6本：別売)で 사용할 수 있습니다。

家庭用コンセント(AC100V)で使用する場合

1. 付属の専用ACコードのプラグを背面の電源端子(AC100V)の奥までしっかりさし込む。

プラグが途中でしか入っていないと、プラグが抜けやすく、電源が入らないことがあります。必ず奥までしっかりさし込んでください。



2. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)へしっかりさし込む。

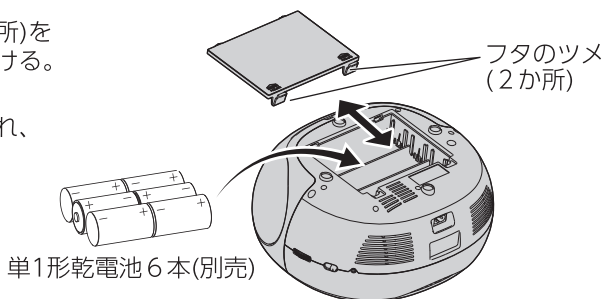
ご注意

- ・電源プラグの抜きさしをおこなうときは、電源を切ってからおこなってください。
- ・電源を切った状態でも、電源プラグをコンセントにさし込んでいると、わずかですが電力が消費されます。長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

乾電池(単1形×6本)で使用する場合

1. 本体底面の電池フタのツメ(2か所)を引きながら持ち上げてフタを開ける。

2. 単1乾電池6本を図のように入れ、フタを閉める。



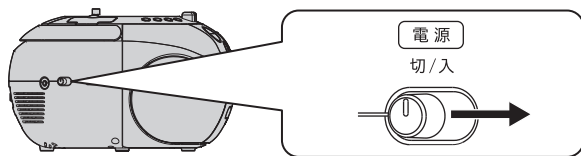
ご注意

- ・極性(⊕と⊖)を間違えないようにしてください。。
- ・ACコードが接続されているときは、乾電池からは電源が供給されません。
- ・長期間(1か月)使用しない場合や家庭用コンセントで使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。
- ・音が小さくなる、音がひずむ、音が途切れる、テープ再生速度が遅くなる、早送りや巻き戻しの速度が遅くなったときは乾電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

9 基本操作

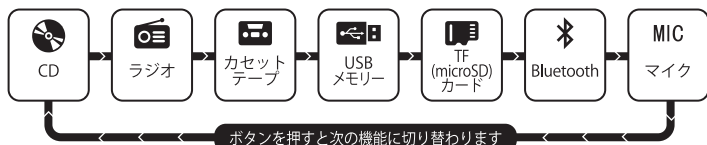
電源を入れる

左側面の電源スイッチを「入」にする。
電源ランプが点灯し、ディスプレイが表示されます。



機能を選択する

前面の機能選択ボタンを押して選択する。
電源を入れると最初にCDが選択され、機能選択ボタンを押すと次の機能に切り替わります。

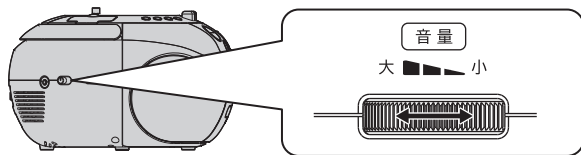


選択した機能はディスプレイ上面に表示されます。



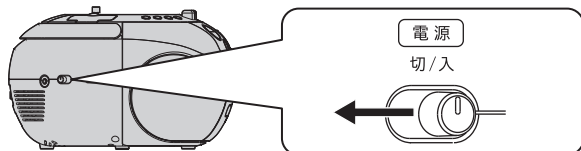
音量を調節する

左側面の音量調節ツマミをまわして音量を調節する。



電源を切る

左側面の電源スイッチを「切」にする。
ディスプレイ表示が消え、電源ランプが消灯します。



・CD、カセットテープ、USBメモリー／TF(microSD)カードは、停止してから電源スイッチを切ってください。

10 CDを聴く

1. 機能選択ボタンを押して「CD」を選択する

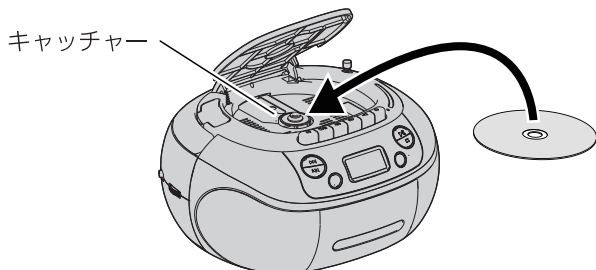
- 電源を入ると最初に「CD」が選択されます。
- 別の機能を使用した後にCDを選択する場合は、機能選択ボタンを押して「CD」を選択してください。
- 再生可能なCDが挿入されていると、すぐに再生が開始されます。
- CDが挿入されていないと、「no」を表示します。
- 本製品で再生できるCDについては、8ページを参照してください。



2. CD挿入部の「PUSH()」と表示された部分を押してフタを開ける

- ディスプレイ部に「OPEN」を表示します。

3. CDの印刷面を上にしてディスクテーブル中心のキャッチャーにCDをしっかりはめ込む



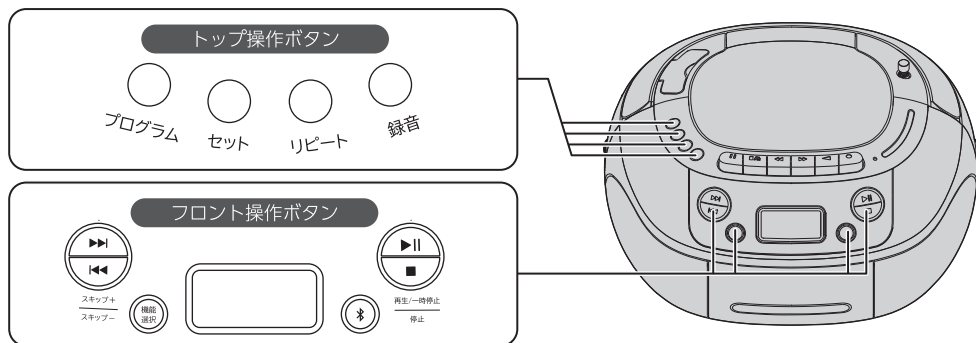
4. 「PUSH()」と表示された部分を押してフタを閉める

- カチッと音がするまで確実に閉めてください。
- フタを閉めると、ディスプレイ部に「———」を点滅表示し、CDの読み込みをします。
- 読み込みが成功すると、トラック(曲)番号1から再生を開始します。
- 読み込みが失敗すると、「Err」を表示します。また、オーディオファイルが無い場合は「no」を表示します。
- 再生中の操作のしかたは、次ページの「フロント操作ボタンの操作のしかた」を参照してください。

お知らせ

- ディスクを読み取るときの「キュルキュル音」「シュリシュリ音」や、再生中の「ザッザッ音」「カツカツ音」などが発生する場合がありますが、読み取りヘッドの動作音であり故障ではありません。

フロント操作ボタンの操作のしかた



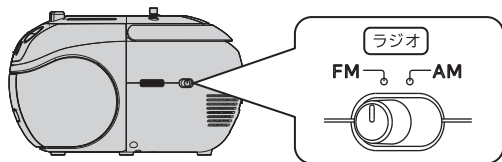
再生する	「再生/一時停止(▶II)」を押す ▶マークを表示し、再生を始めます。 ・再生トラック(曲)番号と再生時間を交互に表示します。 ・1曲目から最終曲まで順番に再生し、終了すると停止します。
一時停止する	再生中に「再生/一時停止(▶II)」を押す 「II」マークを表示し、再生を一時停止します。 ・もう一度押すと再生を開始します。
停止する	再生中に「停止(■)」を押す 再生を完全に停止し、総トラック数を表示します。
前の曲を聴く	再生中・一時停止中・停止中に「スキップ-(I◀◀)」を押す 前の曲へ戻ります。
次の曲を聴く	再生中・一時停止中・停止中に「スキップ+(▶▶I)」を押す 次の曲へ進みます。
早戻し	再生中に「スキップ-(I◀◀)」を押したままにする 押しているあいだ早戻しします。
早送り	再生中に「スキップ+(▶▶I)」を押したままにする 押しているあいだ早送りします。
繰り返し聴く	「リピート」を押す ・「  」マークを表示し、現在表示されているトラック番号をリピート再生します。 ・もう一度押すと、「  」マークを表示し、すべての曲をリピート再生します。 ・もう一度押すとリピート再生を解除します。
設定した順番で聴く	停止中に「プログラム」を押す ・「 PROG 」マークを表示し、「P01」が点滅表示されます。 ・「スキップ(I◀◀)(▶▶I)」を押してトラック番号を選び、「セット」を押すと1曲目が設定されます。 ・「P02」が点滅表示されます。 ・以下同様に「スキップ(I◀◀)(▶▶I)」を押してトラック番号を選び、「セット」を押すと2曲目が設定されます。 ・最後に「プログラム」を押すと、プログラム再生します。 ・再生中に「停止(■)」を押すと再生を停止し、プログラムを解除します。

11 ラジオを聴く

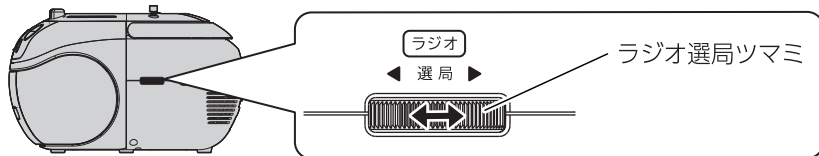
1. 機能選択ボタンを押して「ラジオ 」を選択する



2. ラジオスイッチを操作し「FM」または「AM」を選択する



3. ラジオ選局ツマミを廻して、ご希望の放送局を受信する



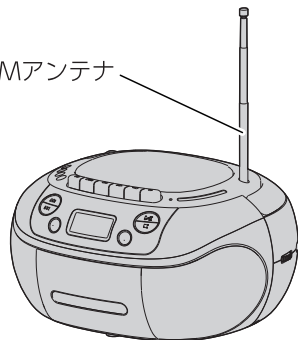
FM放送を受信する

- FMアンテナを伸ばし、最もよく聞こえる向きに向けます。
- 受信できない場合は、窓際など電波状況の良い場所に本体の置き場所を変えてみてください。

AM放送を受信する

- AMアンテナは本体に内蔵されています。本体を最もよく聞こえる向きに向けます。
- 受信できない場合は、窓際など電波状況の良い場所に本体の置き場所を変えてみてください。

FMアンテナ



ご注意

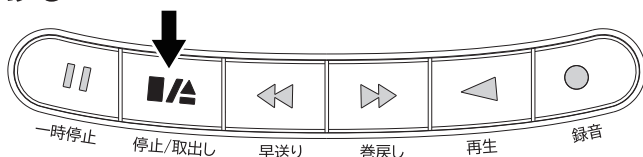
- FMアンテナを取り扱うときはていねいに扱い、無理に曲げたり、収納したりしないでください。FMアンテナが破損するおそれがあります。

12 カセットテープを聴く

1. 機能選択ボタンを押して「カセットテープ」を選択する

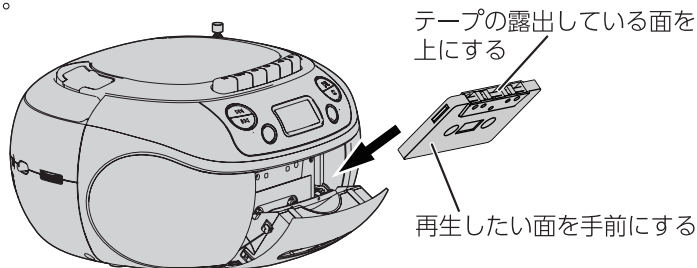


2. カセット操作ボタンの「停止/取出し()」を押してカセット挿入部のフタを開ける



3. テープにたるみが無いことを確認して、カセットテープを入れる

- テープにたるみがあるとテープを巻き込むことがあります。指や鉛筆でたるみをとってから入れてください。

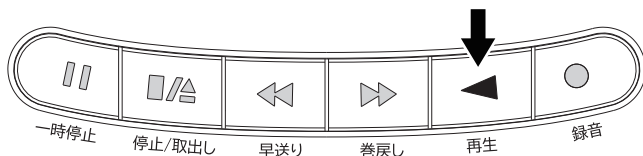


4. カセット挿入部のフタを閉じる

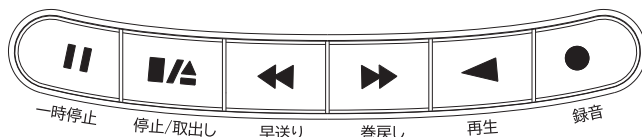
- カチッという音がするまで確実に閉じてください。

5. 「再生()」を押す

- 再生中にテープがすべて巻き取られると、自動停止します。



カセット操作ボタンの操作のしかた



再生する	「再生(◀)」を押す カセットテープの再生を始めます。
一時停止する	再生中に「一時停止(⏸)」を押す 再生を一時停止します。 ・もう一度押すと再生を開始します。
停止する	再生中に「停止/取出し(■/▲)」を押す 再生を停止します。
早送りをする	「早送り(⏭)」を押す
巻戻しをする	「巻戻し(⏮)」を押す

13 USBメモリー、TF(microSD)カードを聴く

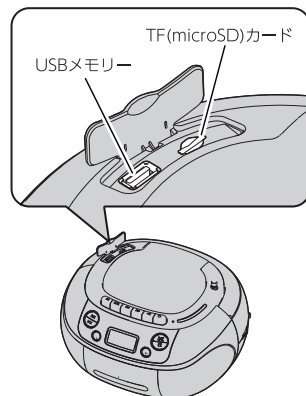
1. 機能選択ボタンを押して「USBメモリー 」または「TF(microSD)カード 」を選択する

- 再生可能なUSBメモリーまたはTF(microSD)カードが挿入されていると、すぐに再生が開始されます。



2. 挿入口のフタを開け、USBメモリーまたはTF(microSD)カードを挿入口にさし込む

- 奥までしっかりさし込んでください。
- ディスプレイに「-----」を表示し、読み込みをはじめます。
- 読み込みが成功すると、ファイル番号 1 から再生を開始します。
- オーディオファイルが無いと、「no」を表示します。
- 操作のしかたは、15ページの「操作ボタンの使い方」を参照してください。
- 本製品で録音したファイルは「REC」フォルダーに保存されます。「REC」フォルダーのみを再生するときは、「セット」を押して、ディスプレイに「rEC」を表示させます。もう一度「セット」を押すと全ファイル再生に切り替わります。



- 本製品で再生できるUSBメモリーやTF(microSD)カードは、9ページを参照してください。

14 Bluetooth機器を聴く※

本製品を使用するためには、お使いの機器とペアリングする必要があります。一度ペアリングをおこなうと次回からはペアリングをせずに接続することができます。

ペアリングして接続する

1. 機能選択ボタンを押して「Bluetooth(※)」を選択する

- Bluetoothマークが点滅し、ペアリングモードとなります。「ペアリングモードです」と案内音声ながれます。



2. お使いの機器のBluetoothを有効にする

3. お使いの機器に表示されるリストから「MXCR-200」を選択する

- ペアリングが完了すると、Bluetoothマークの点滅を停止します。「接続しました」と案内音声ながれます。

2回目以降の接続

1. お使いの機器のBluetoothを有効にする

2. 機能選択ボタンを押して「Bluetooth※」を選択する

- 自動的に接続します。
- 自動的に接続しない場合は、お使いの機器に表示されるリストから「MXCR-200」を選択してください。

ご注意

- お使いの機器によりパスワードの入力を要求される場合があります。その場合、「0000」を入力するとペアリングすることができます。パスワードは、パスコード、パスキー、PINコードなどと呼ばれる場合があります。



操作のしかた

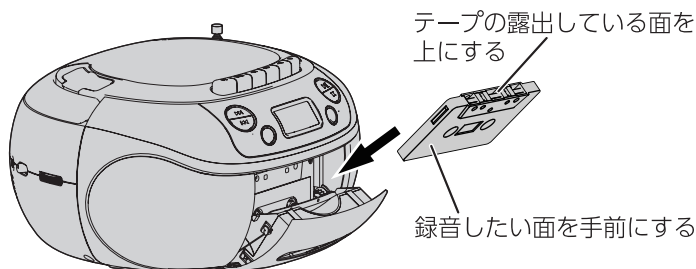
再生する	「再生/一時停止(▶)」を押す
一時停止する	再生中に「再生/一時停止(▶)」を押す
前の曲を聴く	「スキップ-(◀◀)」を押す 再生中の曲の先頭にもどり、もう一度押すと前の曲に戻ります。
次の曲を聴く	「スキップ+(▶▶)」を押す

15 カセットテープに録音する

CD、ラジオ、USBメモリー、TF(microSD)カード、内蔵マイクの音をカセットテープに録音します。

1. カセット操作ボタンの「停止/取出し(■/△)」を押してカセット挿入部のフタを開ける

2. テープにたるみが無いことを確認して、カセットテープを入れる



3. カセット挿入部のフタを閉じる

- カチッという音がするまで確実に閉じてください。

4. 機能選択ボタンを押して、録音したいソースを選択し再生する

- CD、ラジオ、USBメモリー、TF (microSD) 、Bluetoothを再生、またはラジオを受信します。
- 内蔵マイクで録音するときは、機能は「MIC」を選択します。

5. カセット操作ボタンの「録音(●)」を押す

- 録音が始まり、「●REC >> 

6. 録音が終わったら、「停止/取出し(■/△)」を押す

- 録音が停止します。
- 録音中にテープがすべて巻き取られると、自動停止します。

ご注意

- ・ テープ両端にはリーダーテープという録音できない部分があります。録音時の頭切れにご注意ください。
- ・ カセットの誤消去防止ツメが折れていると、「録音(●)」は押せませんのでご注意ください。

16 USBメモリー、TF(microSD)カードに録音する

CD、カセットテープ、内蔵マイクの音を、USBメモリーまたはTF(microSD)カードに録音します。
ラジオ、USBメモリー、TF(microSD)カード、Bluetoothの音は録音できません。

1. 挿入口のフタを開け、USBメモリーまたはTF(microSD)カードを挿入口にさし込む

2. 機能選択ボタンを押して、録音したいソースを選択し再生する

- CD、カセットテープを選択し、再生します。
- 内蔵マイクで録音するときは、機能選択は「MIC」を選びます。



3. 操作パネルの「録音」を押す

- 「 >>  >>  >> 
」または「 >>  >>  >> 」と表示され、録音がはじまります。

4. 録音が終わったら、停止ボタン (■) を押す

- 録音を停止します。

ご注意

- 録音するUSBメモリーまたはTF (microSD) の空き容量が十分にあるか確認してください。
- 録音中に、USBメモリーまたはTF (microSD) カードを抜かないでください。
- 録音したいソースが再生されていないと、録音ボタンを押しても録音ははじまりません。
- 録音したファイルは、「REC」フォルダーに保存されます。
- 録音をはじめて停止するまでが一つの録音ファイルとなります。
- 録音ファイルはMP3形式で保存されます。

17 ヘッドホンで聴く

有線ヘッドホン

1. 左側面のヘッドホン端子にヘッドホン(別売)を接続する

2. 選択したソースを再生する

- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音声は止まります。

Bluetoothヘッドホン

CD、カセットテープ、USBメモリー、TF(microSD)カードの音をBluetoothヘッドホンで聴きます。

1. Bluetoothヘッドホン(別売)のBluetoothを有効にする

- 設定については、機器の取扱説明書を確認してください。
- ペアリングをおこなうと、次回の接続からはBluetoothを有効にすると自動で接続します。

2.「Bluetooth(📶)」接続ボタンを押す

- Bluetoothのペアリングモードとなり、表示(📶)が点滅します。
- 自動で接続します。接続すると点滅が停止します。



3. 選択したソースを再生する

- Bluetoothヘッドホンを接続するとスピーカーの音声は止まります。

ご注意

- ・本製品は最も近くにあるBluetooth機器と接続をおこないます。接続できない場合は、Bluetooth機器を近づけてください。
- ・本製品とBluetooth機器との接続は1台のみとなります。Bluetooth機器が既に他の機器に接続されている場合は本製品と接続できません。既に接続されているBluetooth機器との接続を解除して接続してください。
- ・ペアリングモードは約5分で終了します。
- ・音量は本製品およびBluetooth機器で調節してください。
- ・ソースがBluetooth、ラジオ、マイクの場合は、Bluetoothヘッドホン接続はできません。
- ・Bluetooth接続中に、ラジオ、Bluetooth、マイクを機能選択するとBluetooth接続が解除されます。

18 お手入れのしかた

お手入れの時は、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

本体のよごれは、水でうすめた中性洗剤を含ませた布で落とし、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

ご注意

- ・ベンジン、シンナー、アセトン、アルコールなどは使わないでください。また、殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CDピックアップ(レンズ)部

- ホコリなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でホコリを掃き出します。
- 指紋などレンズについたよごれは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

テープ挿入部

- 市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をご使用ください。
- 市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを含ませ、テープがふれる面を軽くふいてください。

19 廃棄のしかた

本製品は、小型家電リサイクル法の対象品目です。
小型家電のリサイクルにご協力をお願いします。
お住まいの地域によって回収品目、回収方法が異なるため、ご使用済み製品の廃棄に際しては、お住いの市区町村の回収方法にしたがってください。

- 本体に入れた乾電池(単1形×6本)は、取りはずしてセロハンテープなどで電池の端子部を絶縁してから、お住まいの地区(市区町村)の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

20 トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)

下記「対処の方法」で解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

症状	原因	対処の方法
電源が入らない	電源プラグが本体の電源端子「～AC IN」からはずれている	プラグを、奥まで確実にさし込む
	コンセントに電源プラグが入っていない	コンセントに確実にさし込む
	電池極性間違い(乾電池使用时)	電池を正しく入れる
	電池が消耗している(乾電池使用时)	すべて新しい電池に交換する
音が出ない	音量レベルが下がっている	音量を調節する
	ヘッドホンがさし込まれている	ヘッドホンをはずす

CD部

音が出ない	CDが裏返しになっている	印刷面を上にして挿入する
	CDがよごれている	CDを清掃する/CDをとりかえる
	ピックアップレンズがよごれている	レンズ部を清掃する
音がとび	CDに大きなキズやソリがある	CDをとりかえる
	振動する場所に設置している	振動のない場所に設置する
	ピックアップレンズがよごれている	レンズ部を清掃する

USBメモリ/TF(microSD)カード部

USBメモリが さし込めない	向きが逆になっている	コネクタの向きを確認してさし込んでください
TF(microSD)カード がさし込めない	表裏が逆になっている	端子面が内側(USB側)になるようにさし込んでください
	カードが曲がっている	カードを交換してください
再生がはじまらない	奥まで挿入されていない	奥までしっかりとさし込んでください
	ファイルが入っていない ファイル形式が違う	MP3形式のファイルがあることを確認して下さい
	フォーマット形式が違う	FAT16またはFAT32であることを確認して下さい

ラジオ部

症状	原因	対処の方法
雑音が多く聴きづらい	電源雑音の影響を受けている	別のコンセントにさし換えてみる
	モーター、蛍光灯などの電気器具、Wi-Fi/Bluetoothなどの無線機器による雑音の影響を受けている	本製品を雑音源から離す
	ポータブル電源による雑音の影響を受けている	家庭用コンセントまたは乾電池で使う
	電波が弱い	アンテナを調節する／本体の設置場所を変える

カセット部

カセットが入らない フタが閉まらない	カセットの向きが上下逆になっている	テープが見えている面を上にして挿入する
	カセットが正しく入っていない	カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	カセットの不良	カセットをとりかえる
	テープがすべて巻き取られている	カセットのA/B面を入れ替える
音がとぎれる、音程が狂う、消去が不完全	乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	古いカセットテープを使っている	新しいカセットテープと取り換える
録音ボタンが押せない	誤消去防止ツメが折れたカセットを使用している	カセットをとりかえる 録音しなす時は、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ

Bluetooth部

接続しない	機器と接続されていない	ペアリングと接続をおこなう
	他の機器と接続されている	他の機器の接続を切る
音がでない	機器が再生されていない	機器を再生する
	機器の音量が小さい	機器の音量を上げる
音がひずむ、とぎれる	通信距離が離れている	通信可能範囲10m以内に近づける
	電波をささげる障害物がある	障害物を避ける
	電子レンジや通信機器と電波が干渉している	電波が干渉する機器と離れたところで使用する

21 仕様

CD部

チャンネル数	ステレオ 2チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz
メディア	CD、CD-R/RW
フォーマット形式	CD-DAフォーマットまたはMP3オーディオファイルが記録された音楽ディスクでファイナライズ済みのもの

USBメモリー/TF(microSD)カード部

対応メモリー	USBメモリー (USB-A 32MB～128GB / FAT16またはFAT32フォーマット) TF(microSD)カード (32MB～128GB / FAT16またはFAT32フォーマット)
ファイル形式	MP3オーディオファイル(MPEG-1 Audio Layer 3(～320kbps))

ラジオ部

対応周波数	AM 530-1600kHz FM 76-108MHz
-------	--------------------------------

カセット部

トラック方式	4トラック 2チャンネル
録音方式	ACバイアス録音
早送り・巻戻し時間	約2分30秒(C60)
推奨テープ	ノーマルポジションTYPEI C60

Bluetooth部

受信機能	Bluetooth Version5.4
送信機能	Bluetooth Version5.4 CD、カセット、USBメモリー、TF(microSD)カード

共通部

電源	AC100V 50/60Hz または 乾電池 単1形(R20またはLR20)×6本
消費電力(最大)	15W
スピーカー部	φ77mm コーン型 × 2
実用最大出力	3W+3W
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
本体サイズ	W273×D247×H147mm(突起部含まず)
本体質量	約2.1kg(乾電池、ACコード含まず)
付属品	専用ACコード(長さ約1.5m)

動作時間の目安

再生方法	動作時間 (マクセル製アルカリ乾電池 ボルテージLR20(T)、中音量のとき)
CD-DA/R/RW	約35時間
USB/TF(microSD)	約46時間
ラジオ(AM/FM)	約55時間
カセット	約37時間
Bluetooth	約44時間

動作時間は目安です。内容や音量によって変動します。

仕様および外観は製品改良のため予告なく変更する場合があります。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社電響社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

22 保証とアフターサービス

保証書

保証書はよくお読みの上で、購入証明書（レシートなど）と共に大切に保管してください。
保証期間はご購入日から1年間です。

本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) | FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<https://www.maxell.co.jp>

マクセルお問い合わせ

検索